

科目名	情報系資格対策講座 4								年度	2025
英語科目名	Information System Qualification Course 4								学期	後期
学科・学年	I T スペシャリスト科 2 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義	
担当教員	金井	教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア			
【科目の目的】 キャリアを形成するうえで有用となる情報系の試験に合格することを目指す。学生がすでに取得している情報系の試験のレベルに合わせて、ターゲットとする資格については開講時に決定する。本シラバスは情報システム試験システムデザインスキルを例として記載する。システムデザインスキル以外をターゲットとした講座は、講座の冒頭にシラバスを掲示する。										
【科目の概要】 情報システム試験のシステムデザインスキルへの合格を目指す。本科目ではシステムの開発と、それに必要なネットワーク技術、データベース技術及び、セキュリティと標準化に関する知識を身に着ける										
【到達目標】 情報システム試験の基本スキルへの合格を目標とする。 A. 試験範囲の理解度 B. 演習問題解答能力 C. 自主的な学習態度										
【授業の注意点】 資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが肝要である。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応をする。理由の無い遅刻や欠席は認めない。講義に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーを守ることがを求める。（詳しくは、最初の授業で説明。）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル 2 あと少し	レベル 1 要努力					
到達目標 A	試験範囲全体を深く理解しており、どのトピックにも自信を持って対応できる。	ほとんどの範囲を理解しており、一般的なトピックに自信を持って対応できる。	基本的な範囲を理解しているが、複雑なトピックには不安がある。	一部の範囲しか理解しておらず、全体的に不十分。	試験範囲の理解がほとんどない。					
到達目標 B	演習問題を迅速かつ正確に解答でき、内容を深く理解している。	演習問題を解答できるが、一部にミスや不安が見られる。	基本的な問題に対しては正確だが、難易度の高い問題には不安がある。	演習問題の解答に多くのミスがあり、理解が浅い部分が多い。	演習問題の解答がほとんどできず、理解に大きな欠陥がある。					
到達目標 C	積極的に自主学習を行い、予習復習を通じて高い理解度を維持している。	自主学習を行っており、ほぼ全ての内容で準備ができている。	自主学習を行っているが、特定の部分に対して準備不足が見られる。	自主学習が不足しており、準備不足な部分が多い。	自主学習をほとんど行っておらず、準備が非常に不足している。					
【教科書】 資料を配布する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 目標としている試験への取り組み状況、試験申し込みと受験の実績、および可否の結果を総合的に評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

